

基調講演 9:30~10:20

中高の新教育課程作りのために —基礎・基本、選択、総合をキーワードにして—

名古屋大学 教育学部教授 安彦忠彦

はじめに

・学校五日制と学力問題について

1. 日本の中等教育の位置と基本構造：生涯学習時代の青年期教育の視点から

- (1) 前期と後期があること：「選択履修」の原理の相違
- (2) 義務教育と非義務教育を含むこと：「基礎・基本」のとらえかた
- (3) 普通教育と専門教育を含むこと：「総合」の位置付け

2. 中高の教育課程構成の基本的視点

- (1) 初等教育と高等教育・中等後教育（ポスト：セカンダリー）との橋渡し
- (2) 青年期の発達心理的諸課題への対応：性差や心の問題をどう扱うか
- (3) 中高の「総合的な学習の時間」の作り方：小学校との異同
- (4) 各教科・科目と「総合的な学習の時間」との相互作用的・往復運動的關係づくり

3. 今後の教育課程構成の在り方

- (1) 教育課程構成の「ハイブリッド・モデル」の提案
- (2) 教科の再編は「教科内容の改造」を優先する
- (3) 6年間を見通した長期的展望に立つ教育課程づくり

おわりに

・各学校での教育課程づくりの経験と力量の向上を！